

編集後記

執筆者をはじめ多くの方々のご協力により第8号も無事発刊の運びとなりました。

本号の巻頭言は京都大学建築学科の金多潔先生から「都市の過密化と建築鉄骨」とのテーマで御執筆いただき有難うございました。21世紀に視点を置かれ都市の超高層化の必然性とその具体化に伴う建築鉄骨の総合的技術開発の重要性についての技術見解は、今後の研究課題、技術研鑽のよすがと致したく存じます。大変有難く誌面を借りて厚く御礼申し上げます。

昨年は湾岸戦争終結に引続きソ連邦解体と言う世界情勢の大きな変動があり、内外とも急激に変わりつつあります。この中であって特に事の体質を見失わないことが重要と思われれます。

本号では編集委員の異動があり小池委員長から高野委員長に交替しました。また、滝戸、原、宮坂委員から清宮、鳴沢、大橋委員に交替しました。よろしくお願ひします。編集委員一同今後の時代の変化に応じた宮地らしい充実した技報にすべく努力を続けるつもりでおります。

なお、掲載内容も含めご感想、ご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

技報編集委員会

委 員 長	高 野 祐 吉			
副 委 員 長	小 川 英 信	三 木 茂 喜		
委 員	青 木 清	伊 木 達 治	太 田 武 美	
	小 出 勝 雄	菅 井 衛	清 宮 昭 夫	
	中 島 善 郎	鳴 沢 明 雄	能 登 宥 愿	
	宮 崎 好 永	大 橋 明*	太 田 貞 次*	

* 印 事務局兼務

宮地技報 第8号

発行日 平成4年3月20日

発行所 株式会社宮地鐵工所

〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町15番18号

(日本橋SKビル) TEL 03 (3639) 2111(代)

印刷所 三好印刷株式会社